



会長 小井田和哉 青少年奉仕 石橋 信雄
副会長 村井 達 幹事 深澤 隆
クラブ奉仕 小林 幹夫 会計 渡辺 孝
会長エレクト 佐々木泰宏 会場監督 接待 一雄
職業奉仕 橋本八右衛門 直前会長 道尻 誠助
社会奉仕 妻神 和憲 副幹事 正部家光彦
国際奉仕 妻神 和憲 会計補佐 紺野 広

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 菊地 幹 同副委員長 峯 正一
同委員 村館 珠樹 同委員 奈良 全洋

国際ロータリーのテーマ — 2021~22 — 八戸ロータリークラブのテーマ

奉仕をしよう みんなの人生を豊かにするために

今できる親睦と奉仕を！

国際ロータリー会長 シェカール・メータ

八戸ロータリークラブ会長 小井田 和 哉

2月 は 平和と紛争予防／紛争解決月間です

第3216回例会 2022.2.9

会長要件 小井田和哉 会長



今週の例会も先週に引き続き時間を短縮して行いたいと思います。

北京オリンピックが開幕いたしました。日本人の選手ではスキージャンプの小林陵侑選手が金メダル、スピードスケート1500mの高木美帆選手が銀メダル、フィギュア団体が銅メダルと、今後も若い選手がいろいろ出てきますので活躍を期待したいと思います。

その一方で今大会では“疑惑のジャッジ”が話題になっています。ある国の選手に有利な判定が続いたり、日本の選手と関係があるのはスキージャンプ団体の女子のジャンプで10ヶ国中4ヶ国で5人の方がジャンプウェアの違反で失格になった。男子は全然失格は出ていないので、これはちょっと判断基準が男子と女子で違ったのではないかと、そんなこともいろいろ噂されているようです。そういう余計な事を気にせず純粋にスポーツとしての競技を楽しめるオリンピックになって欲しいと考えています。

さてコロナウイルスは連日報道されていますが、昨日の発表では青森県391人（うち八戸は60人、青森弘前では100人超えが続いているようです。）八戸の場合は飲食店というより学校（小中高校・保育施設を含む）のクラスターが増えているようです。今までは人込みや夜の街をなるべく控えていれば大丈夫かなと思っていましたが、外だけでなく家の中でも注意しなければならないということになってきているようです。皆さんも十分注意していただければと思います。

幹事報告 深澤 隆 幹事



○ロータリー日本財団より、「確定申告用寄附金領収証」が届いております。

○ロータリー手帳を毎年全員にお配りしていましたが、使っておられない方もいらっしゃるようですので、経費削減もあり、会長とも相談し必要な方のみ発注してお渡しする形に切り替えたいと思います。紙を回しますので、必要か不必要かをご記入ください。

○この地域でもコロナ感染症の発生率が増えています。市民・日赤で平均して10人ずつ入院患者が推移しながら、施設療養に関しても2つの施設で恐らく30~40人ずつ入居者がいます。注目すべきは在宅療養者が300人くらいいるようです。皆さまの事業を継続する中で職員も感染が、子供から感染して出勤できないなど事業を継続することすらなかなか難しくなってくる状況にあります。市長はまだ蔓延防止に対しての発令もありません。

実際に医療現場、保健所の状況では抗原キット、PCR検査の試薬等が相当不足していて発熱外来で検査ができないという状況で、当クラブの小倉会員が中心となっているいろいろな調整をしていらっしゃいます。罹らないことが大事ですが、医療現場でも少しひっ迫し始めている状況をお知らせしたいと思います。

当会の例会もこのような形式で開催できる限りは続けていきたいと思っています。皆さま方の感染防止、予防対策のご協力あってのことだと思いますのでよろしくお願いします。

委員会報告



親睦・会場委員会
廣岡徹也委員

○ニコニコボックスの報告
・結婚記念日 小井田和哉さん
広瀬知明さん 石橋さん、

佐々木さん、中村さん、ビブリオバトルよろしくをお願いします。

佐々木泰宏さん ビブリオよろしく！

赤澤栄治・道尻誠助
中村稔彦・廣岡徹也さん } ニコニコデー

植草 務さんからお知らせ



2月3日に新聞報道で「SMBC日興証券社員相場操縦の疑いで東京地検の捜査が入りました」という報道がされています。本当に皆様にはご心配をおかけし大変申し訳ございません。

当社および社員が証券等取引監視委員会の調

査を受けていることは事実です。今回、調査を受けていることの内容は本部で行われているブロックオフ取引というもので調査を受けています。現時点で当社のお客様、お取引に関しては何ら影響がないということです。仮に当社のお取引、お預かりしている方がいらっしゃいましたら、ご安心いただければと思います。このたびはたいへんご心配をおかけしましてたいへん申し訳ございませんでした。

・Aテーブル 石橋信雄さん「シリーズこの人を訪ねて 岩瀬浩介さん（秋田東RC）」



オリンピックはひじょうに盛り上がっています。高橋沙羅ちゃんが号泣しているシーンにはもう本当にウルツときて、こんなことってあるんだ

と思っていたわけです。オリンピックの裏で実はもう1つ世界的な大会がこっそりやっています。日本のチームが出ていないのであまり感心事ではないのかもしれませんが、FIFAのワールドカップ、サッカーのクラブチームの世界一を決める大会がこっそりBS日テレや地上波の日本テレビで放送しています。サッカーもクラブチーム世界一を決めるということで、今週末にはチェルシーなどが出てきて、いよいよ世界一を決める大会をやっています。

今日紹介するのはJ2秋田ブラウブリッツ社長の記事です。気になっているのは秋田はいいところだと思っています。去年もお伺いしましたが、秋田といえばおいしい食べ物。きりたんぼ鍋、いぶりがっこ、友好クラブの横手焼きそばなどいろいろおいしいものがあります。あるいはもっとおいしいのはお酒。最近では新政など。

秋田には毎年何回か行きますが、岩手は兄弟の兄のような感じがしますが、秋田はどちらかというところ、お盆や結婚式に会うような感じの、隣県でちょっと近いけれどちょっと減多に行かないなというようなところもあり、秋田のことが気になる。そう思い

まして、この記事をご皆さんにご紹介したいと思います。

Jリーグということでも気になりました。八戸にもJ3にヴァンラーレ八戸というチームがいてJ2を目指して頑張っていますが、なかなかJ2には行けていません。わたしは商工会議所青年部の頃にヴァンラーレをぜひJ3にしようということでもいろいろ応援活動をしていました。八戸せんべい汁をブースで出店したり、的屋みたいなことをやってヴァンラーレを応援したことがありました。ブラウリッツさんがJ2に上がったというのも本当に他人事ではなく身近なことに考えています。ブラウリッツは川崎フロンターレとも天皇杯ですごい試合をしたりしていましたので、その辺も考えていました。

ここから本題です。一番皆さんにご紹介したかったのは、岩瀬社長は40才の社長で30才まで選手をされていたということです。茨城県出身で本当に選手をしながら秋田にご縁があって、そして後援会の支持もいただきながら秋田の土地が大好きになって、このチームを応援しようということで、負債が9000万円あったそうですが、そこから急遽社長になるということでした。40才という事ですが、今では秋田東RCに入られて、青少年事業もやられているそうです。そういう方の半世紀のことがこちらの記事に書いてありますので、ぜひ皆さんも一読いただければと思います。

・Dテーブル 佐々木泰宏さん「米山から世界の町へ⑫ ミャンマー・マンダレー」



2月号ではミャンマーのマンダレーという、ミャンマー第2の都市で活躍しているトウントンさんという方のお話です。

わたしはコロナのせいでどこにも行けなくなって、特に東南アジアに行けなくなって残念だと思っているところにこのページが出てきて、アジアの香りがする写真がたくさん載っていましたので、つい選んでみました。

ミャンマーは行ったことはありませんが、

記事を読んでも建物や風景、食べ物などもわたしの大好きなタイを思い出させるものがたくさんあるな。やはり東南アジアはいいな。仏教国というのも何か安心させるところがあるなと改めて思います。トウントンさんは今から30年近く前に米山奨学生として兵庫県加古川ロータリークラブのお世話になりました。期間中に阪神淡路大震災があって、まだ志半ばでしたが途中で帰郷を余儀なくされたという方です。

米山奨学会は戦前の反省をもとに広くアジアの若い人を日本に招き入れて勉強してもらおうという趣旨で設立された団体です。そういった意味でもわたしは交換留学生よりはどちらかというと米山奨学生の方が真摯に学ぶ姿を感じることができて、何となく好きです。

このトウントンさんも日本で農業研修生ということで、実習を兼ねた研修生として学んで、帰国後にはそういったことを活かして有機農業に挑戦して、現地で働きながらさらに大学、大学院を卒業したという苦労人でもあったようです。その後、米山の経験を活かしてミャンマーはエイズ患者がすごく多いのでエイズ患者の支援、国際機関と協力しながら子どもの教育や衣食住のお世話をしたりするような支援をしていました。また一方で町のごみの収集や安全に買い物ができる市場の管理など、そういう身近なところでも活躍されています。

ところがご存じのように今ミャンマーでは昨年2月に軍事クーデターが起きて、それらの活動がすべて停止状態になっている。この米山の原稿を書いている最中にも銃を持った軍人が家の前を行進している状況のようです。当然ながら一日も早くそういう状況が収束するように願っています。

こういった形でこの記事は東南アジア各地で我々ロータリアンが寄付した奨学金を基にして学んでいった人たちが日本に思いを寄せながら地道に活躍しているということを改めて思い起こさせてくれる記事です。ぜひお読みいただければと思います。

・ | テーブル 中村稔彦さん「特集 青少年交換は未来平和へのギフト」



今回のタイトルは「青少年交換は未来平和へのギフト」です。交換留学と平和の2つがキーワードなのかと思います。交換留学の視点でみた平和が物語的に書かれています。

皆さんは“平和”、“交換留学”というどのような考え、イメージがありますか？わたしは留学というとももちろんいろいろ海外に行けるからいいなというのと、英語圏だと英語の勉強ができるなどのイメージがあります。ここもいろいろな視点によって思いや考えもあるようです。平和についても正解はないと思いますが、いろいろな方がそれぞれの立場に立っての考えも載っています。

交換留学ができたかの経緯。結果からいうと60年前に東京でロータリーの国際大会が開かれたときにオーストラリアの方も出席されました。本来なら日本を憎むべきくらいの気持ちで来日しましたが、その方がきっかけになりました。そのオーストラリアの方は若い頃に日本軍と戦争で戦って目をケガしてしまって全盲になった。その方が60年前に周りの反対を押し切って東京の国際大会に来た。日本がどのような国なのか、どのような人々がそこで暮らしているのか、それをすごく知りたかった。実際に来てみるととても親切で、本当に素晴らしい国だということがわかった。

もちろん日本人を恨んではいない。戦争は政府と政府の争いである。お互い一人一人の間に憎しみはないと思っていると書かれています。

本当に素晴らしい方だと思いました。わたしがこの立場なら絶対日本に行きたくない。一生日本人を恨むだろうと思いますが、この方はこういう思いで日本に来ました。最後に、「よりよい世界にする唯一の方法は過去を許し、忘れることだと悟った。」本当にこの人は神様のように素晴らしい人だと思っています。この方がきっかけで、お互いの異文化交流、そこから留学がスタートしたと書いています。

ロータリーの留学であちこち行った6名の方にいろいろな質問を投げかけ、答えが書いてあります。これもすごくおもしろいです。6人の立場はそれぞれ違います。就職先も違います。平和とはあなたにとって何ですか？という質問に対して、

- ・看護師の方は：健康。健康が不平等に扱われることがなく保証される。
- ・大学生の方は：平和ということ自体考える必要がない。考えなくていいのが平和。
- ・料理人を目指す方は：食べることに苦しまなくなること。

それぞれ立場や職業によって平和に対しての考え方が違うと思いました。本を読むのが大嫌いなわたしでもスラスラ読めた本です。ぜひご一読いただければと思います。

出席報告						出席委員会	
第3216回例会（2月9日）				第3214回例会（1月26日）			
出席率		46.8%		出席率		61.3%	
総会員数		62名		出席数		29名	
出席義務会員		60名		出席免除会員		2名	
出席義務会員		60名		出席免除会員		2名	
欠席数		33名		欠席数		24名	
修正出席率		61.3%		メイクアップした人数		0名	